

令和7年度 庁議 議事要旨

会議名称	第3回調整会議 兼 第2回政策会議
日時	令和7年7月29日（火） 午前9時05分～9時35分
場所	2階会議室
出席者	町長、菅原副町長、宮崎副町長、教育長、統括監ほか課長職、総合政策課主幹、福祉医療課主幹、社会福祉係長、総務課主幹

内 容	【審議事項】 重点支援地方交付金（推奨事業メニュー）活用事業案について （１）概要 ・物価高騰影響の支援として本町への配分額は694.4万円。 ・庁内から事業を募ったところ2件の提案あり。 ①福祉施設物価高騰対策支援金 ～655万円 ↳福祉施設は定員が決まっている中、サービス給付費で運営しているが、急激な物価高騰があったとしても、利用者へ価格の転嫁をすることが難しい分野であることから、事業者の下支えのため行うもの。 ②町内会等交付金（エネルギー価格高騰対策支援）～258.2万円 ↳各町内会から補助金の申請を受け付けているが、令和6年度の電気料が平均で16%、高いところでは22%の増加が見られる。また、町内会の加入者が減少する中で街路防犯灯の維持も厳しさが増すとの声を聞くことから負担軽減を図るもの。 （２）主な意見・質疑・確認事項等 ・②の事業は令和5年度、6年度と実施してきているが、町内会の一部の役員にしか知られていないなど、町民全体への事業の浸透が薄いと感ずるところ。 →今年度については、広報などで事業のPRをさらに図りたい。 ・福祉施設だけではなく、認定こども園への支援は行わないのか？ →認定こども園には、今春、北海道から物価高騰に対する支援金給付の枠組みがあったことを勘案して提案を控えたところ。 （３）調整会議の結果 ・提案の2件の事業で取り進めることで決定する。最終的な予算額については9月補正予算の中で総務課を含めて協議する。 （４）政策会議の結果 （町長）みなさんの提案事業に対する思いと私も同じ考えを共有しているところ。是非ともこれらの内容で取り進めてほしい。 （了）
-----	---